

平成29年度
事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

公益財団法人 国際科学振興財団

平成 29 度事業

【公 1 事業（研究開発事業）】

1. 概 要

研究開発事業は、研究者としての実績等適切な資格を有する研究者又はその者らのチームによって基礎的研究から技術的開発にかかる事柄が実施される、学術及び科学技術の振興を図る事業。平成 29 年度は 44 件が実施された。

2. 内 容

平成 29 年における分野ごとの研究テーマ数は次の通り。なお、研究テーマ一覧における分類は研究員（チーム）ごとに行っており、複数のテーマが含まれている場合がある。

- ・社会科学分野：8 テーマ
- ・物質科学分野：4 テーマ
- ・情報科学分野：6 テーマ
- ・生命科学分野：23 テーマ
- ・環境科学分野：3 テーマ

<社会科学> (7 グループ・8 テーマ)

(1) -①ハイパーソニック・エフェクトの研究

-②ハイパーソニック・エフェクトの精神・神経疾患治療応用研究

財団主席研究員	大橋 力
財団上級研究員	河合 徳枝

(2) 超高輝度 X 線発生装置製品化のための基礎研究

財団特任主席研究員	坂部 知平
財団特任研究員	坂部 貴和子

(3) 新たな心理テストの開発ー産業人の心理ストレスの把握ー

とよさと病院附属筑波社会精神医学研究所
佐藤 親次

(4) 三重津海軍所跡（船屋地区）遺構の地盤工学的分析

防衛大学校教授	正垣 孝晴
---------	-------

(5) 水戸市植物公園リニューアル基本構想・基本計画策定業務委託

財団特任主席研究員	鈴木 雅和
-----------	-------

(6) 電磁波散乱現象評価のための測定と計算

防衛大学校教授	森下 久
---------	------

(7) 津波防災研究及び津波防災に関する国際連携プラットフォーム構築の研究

財団特任主席研究員	ロバート・ゲラー
財団特任主席研究員	丸山 茂徳
理化学研究所主任研究員	戎崎 俊一

<物質科学> (4グループ・4テーマ)

(1) 糖鎖高分子に関する技術を用いたコンタクトレンズの表面改質

財団主幹研究員	後藤 光昭
---------	-------

(2) 有機合成、有機分解反応における炭素-ヘテロ原子結合の導入とその反応に関する研究

財団主席研究員	古川 尚道
財団主席研究員	赤坂 健
財団兼任研究員	古川 真

(3) メタマテリアルを用いた薄型電波吸収体の研究

防衛大学校准教授	道下 尚文
----------	-------

(4) 形状記憶合金の開発と基礎研究

財団主席研究員	宮崎 修一
---------	-------

<情報科学> (3グループ・6テーマ)

(1) -①移動通信用アンテナの研究

-②電磁メタマテリアルによる電波障害反射特性の改善研究

防衛大学校准教授	道下 尚文
----------	-------

(2) -①小型アンテナおよび車載アンテナに関する研究

-②高誘電率材料を用いたマルチバンドアンテナの小型化に関する基礎研究

-③将来レーダに関する広帯域小型アンテナの研究

防衛大学校教授	森下 久
---------	------

(3) 21世紀型顧客ニーズ瞬時製品化対応新生産方式の研究開発

東北大学特任教授	白井 泰雪
財団研究員	仁平 繁通

<生命科学> (21 グループ・23 テーマ)

- (1) -①細胞認識機能を有するバイオマテリアルの設計とその医学・薬学への応用
-②肝臓ターゲティング糖鎖の設計と遺伝子送達材料の開発

財団主席研究員	赤池 敏宏
財団主幹研究員	後藤 光昭
財団研究員	SIEW SOKE LEE
財団研究員	関 禎子

- (2) Gタンパク質の作用機構と疾患ーGタンパク質共役受容体の新しい制御ー
聖マリアンナ医科大学特任教授

飯利 太朗

- (3) 時間分子細胞生物学研究

財団主席研究員	石田 直理雄
財団研究員	川崎 陽久

- (4) 外科学に関する研究ー低侵襲手術の開発と教育ー

東京慈恵会医科大学外科学講座統括責任者
大木 隆生

- (5) 大進化の分子機構

財団主席研究員	岡田 典弘
---------	-------

- (6) 受精のしくみに関する研究ー動物・植物を通じた受精の本質の概念的認識ー
大阪大学微生物病研究所招聘研究員

岡部 勝

- (7) ネフローゼ状態で浮腫を合併した心不全患者に対する利尿薬の効果に関する
臨床研究

医療法人海の弘毅会理事長・院長
海津 嘉蔵

- (8) 生物機能の基礎解析および応用研究

筑波大学教授	小林 達彦
--------	-------

- (9) 集学的癌治療に関する研究ーゲノム情報に基づいたがんの定量的悪性度評価ー
地域医療機能推進機構下関医療センター院長

佐々木 功典

- (10) 胃切除後障害の診断・治療体系の確立
東京慈恵会医科大学附属第三病院准教授
中田 浩二
- (11) バイオ/ライフサイエンスに係る先駆的創造的研究の推進
財団特任主席研究員 西村 暹
財団主席研究員 岡田 典弘
財団主任研究員 岩崎 裕貴
- (12) 脳神経外科領域における真皮縫合の有用性
虎の門病院脳神経外科部長
原 貴行
- (13) 脳外傷後高次脳機能障害における核医学的手法を用いた臨床研究
札幌麻生脳神経外科病院院長
飛驒 一利
- (14) 分子生物学的発生工学的なアプローチでの生命調節系遺伝子の機能発現と制御
—生活習慣病のエピゲノム応答ネットワークの解明—
筑波大学教授 深水 昭吉
- (15) バイオ人工肝臓の開発とその応用
東京慈恵会医科大学教授
松浦 知和
- (16) 神経外科疾患に対する集学的治療の研究
筑波大学教授 松村 明
- (17) 外科腫瘍学ならびに胎児外科に関する研究
いわき明星大学学長 山崎 洋次
- (18) 思春期女性への HPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌の HPV16/18
陽性割合の推移に関する長期疫学研究 (第 I 期 ; 2012 年 4 月-2019 年 12 月)
茨城県立中央病院院長 吉川 裕之
- (19) ①「こころ」が遺伝子 ON/OFF に及ぼす影響に関する研究
—快情動の脳内ネットワーク形成における分子基盤の解明—
②「こころ」が遺伝子 ON/OFF に及ぼす影響に関する研究
—陽性感情の作用機序とその分子基盤の研究—
心と遺伝子研究会
財団主席研究員 村上 和雄
財団研究員 堀 美代

財団研究員	坂本 成子
財団研究員	大西 英理子
東京家政大学教授	大西 淳之

(20) 脳外傷後高次脳機能障害に対する Iomazenil SPECT 共同研究
大阪大学大学院寄附講座教授

森 悦朗

(21) 人間(科)学の前進に資する実践的心身プログラムの展開に関する調査研究
ヒューマンサイエンス研究会

<環境科学> (2グループ・3テーマ)

(1) -①バイオエコシステムを活用した環境保全再生技法の開発

-②平成29年度アジア水環境改善モデル事業(ベトナム国における排水処理の
高度化・省コスト対応制御システムの普及事業)業務

財団主席研究員	稲森 悠平
---------	-------

財団主任研究員	稲森 隆平
---------	-------

(2) 土壌線虫類の計測による線虫相の解明

財団主席研究員	古川 尚道
---------	-------

【公1事業（学術会議等の主催・共催事業）】

1. 概要

学術会議等の主催・共催事業は、国際会議その他学術会議、科学技術セミナー、自然科学講座（以下「学術会議等」）を主催又は共催し、研究開発・学術交流・専門的知識の普及を促進し、学術、科学技術の振興を図る事業。平成29年は2件が実施された。

2. 内容

学術会議等の共催・共催

(1) 「第47回日本神経放射線学会」の共催

第47回日本神経放射線学会

代表 松村 明

(2) 「国際津波防災学会」の設立・運営

国際津波防災学会役員会

代表 ロバート・ゲラー

副代表 山中 燐子

副代表 丸山 茂徳

総務財務 戎崎 俊一

監査 近藤 秀将

【附属明細書】

1. 附属明細書については、特段記載する事項はありません。